

## 大型コンクリート製品

記事提供：北陸土木コンクリート製品技術協会

平成29年7～9月期の出荷状況は、前年同期比▲89%で減少が未だ止まらない。

出荷量の大部分は、スノーシェルターが50%で主な出荷先は、管外での福島県下郷町に出荷された。次いで監査廊が16%で同じく管外の出荷ではあるが、北海道サンルダム、山口県平瀬ダムに出荷された。他は長尺側溝で、羽越河川国道管内の朝日温海道路、富山河川国道管内の小糸道路に出荷された。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千t)

県名	平成28 年度計	平成29年度				備考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
新潟県	+18	±0	▲89			
	4.6	0.3	0.3			
富山県	+80	▲75	▲50			
	0.9	0.1	0.1			
石川県	±0	±0	±0			
	0.1	0.0	0.0			
3県計	+27	▲43	▲81			
	5.6	0.4	0.4			

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスパレット(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、大型擁壁(高さ4～8mでセミレハブ型)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシート、スノーシェルターをいう。

### 生産性向上への悩み

災害復旧を含めて特需が少ない北陸地方では、コンクリート製品業界においても大きな悩みを抱えている。それは特に生産部門における熟練多能工の引退、そして将来を担う若者が極めて採用が困難な状況下にある。また、不安定な生産活動の中で外国人労働者を中長期的には、なかなか雇えない状態であり、衰退する業界となりつつある。

それらを改善する為には、若者や女性が安心してやりがいある職場環境づくりを業界あげて真剣に取り組まなければならない。また、行政からの協力も得ながら、世の中に認知される業界を目指さなければならない。(一例として、業種分類：窯業土石業・・・内容が不明→コンクリート製品製造業等と、分かり易く!?) そのことが実現可能となれば、建設産業界の生産性向上に本当の意味で寄与できると考える。

北陸土木コンクリート製品技術協会 <http://www.hokudocon.jp>